



2009年5月27日 No.150

細川律夫国会事務所 Tel 03-3508-7513 Fax 03-3593-7148 E-mail g04091@shugin.go.jp
南越谷事務所 Tel 048-989-8788 Fax 048-989-5300 HP: <http://minshu.org/hosokawa/>

鳩山新代表の下、政権交代を目指そう

小沢代表の辞任を受け、民主党代表選挙で鳩山新代表が選出されました。細川代議士も、鳩山新代表を支え、全党一致で政権交代に向けた総選挙に邁進していくと決意を新たにしているところです。なお、細川代議士は引き続き、ネクスト法務大臣、党常任幹事の職に留まりました。

タクシー法案で論戦

国土交通委員会では5月13日、タクシーの法案が審議入りしました。民主党など野党4党は共同して2法案を提出し、細川律夫代議士は筆頭提出者として法案の趣旨説明を行いました。

さいたま市で民主派市長

政令市であるさいたま市長選では、民主党県連で支持した清水はやとさんが、現職を大差で破り当選しました。後半戦では、鳩山新代表も応援に駆けつけ、勝利に弾みをつけることができました。この選挙は、政党間の争いというよりも、旧浦和市から通算6期目という長期政権の是非を問うといった色合いが強い選挙でした。市民が政権の交代を強く望んだことが、最大の勝因です。

国政も同様で、長期政権のしがらみと政官業の癒着構造に対し、国民の批判はこれまでに大きく広がっているのが感じられます。民主党が、その声をしっかり受け止め、責任をまっとうしなければなりません。

8月選挙に向け準備を

いまだに総選挙の時期ははっきりしませんが、9月10日の任期満了が目前に迫るなか、7月10日まで開催のサミット、12日の東京都議選後に解散、8月9日選挙という日程が浮上しています。いずれにせよ8月の総選挙がもっとも濃厚ですから、選挙に向けた準備を急がなければなりません。この選挙の最大の焦点は、政権交代が実現するかどうかです。



野党4党で衆議院にタクシー関連2法案を提出

また、22日、27日には質疑が行われ、細川代議士は答弁に立ちました。

タクシーは規制緩和の失敗例と言われ、車があふれ、事故が増加するなどの問題が起こっています。細川代議士は、民主党タクシー関連法案等検討小委員会座長として法案を取りまとめ、各党に呼びかけたものです。

政府案が、「特別措置法」により、特定地域での増車をストップさせ、協議会で協調減車などの事業を行うとの内容であるのに対し、民主党案は、全国的に供給過剰が発生しているとの認識の下、本体の「道路運送法」を改正し、増車を届出制から認可制にするとともに、運賃制度も適正化するものです。

また「特措法」についても自治体の首長が地域指定の要請をできるようにするなど、地方分権の視点を取り入れました。

この野党案が成立すれば、利用者、事業者、乗務員に対しいずれもプラスになるものと考えています。今後、委員会の審議と与野党の協議によって方向が決まります。



国土交通委で答弁する細川代議士

入管法改正案を審議

一方、細川代議士が野党筆頭理事を務める法務委員会では、出入国管理・難民認定法等改正案の審議が行われています。

外国人の新規入国者はこのところ増加し、一昨年で215万人に達しています。一方、一部の外国人については、居住実態が把握されていないなどの問題点が指摘されてきました。そこで、法務省は、時代に即した法改正が必要である、として、この法案を提出したものです。

法案には、現在市町村が行っている外国人登録制度を廃止し、国が新たに在日外国人に在留カードを、特別永住者（朝鮮半島、台湾出身者で終戦前から日本に居住している人）に証明書をそれぞれ発行し、入管が一元管理するなど、多岐にわたる内容が盛り込まれ、一面で在日外国人の利便性は向上するもの、善良な外国人に対しても在留管理が強化されるのではないかと、との指摘もあります。

法案の審議が続く一方、与野党間で修正協議も行われ、細川代議士を中心に、外国人の人権に配慮し、日本人と外国人が共生できるように、という視点で

修正要求をし、特別永住者証明書の常時携帯義務を外すなど、多くの項目での修正がほぼまとまりつつあります。

取調べの可視化で請願提出

5月21日、裁判員制度がスタートしました。民主党では以前から裁判員制度の円滑な実施を訴えてきましたが、その実施に併せ、取調べの全過程を録画（可視化）することを主張してきました。すでに、今国会でも参議院に可視化法案を提出し、可決され衆議院に送られています。全面可視化は、冤罪（えんざい）を防ぐうえでも欠かせない施策であり、欧米先進国ではすでに常識になっていますが、わが国では警察と検察が強く反対し、実現していません。

このほど5月14日に日本弁護士連合会主催の可視化を求める集会で、110万人の請願署名が集まったことが報告され、請願書が手渡され、後日衆議院議長宛に提出しました。



細川律夫より一言
通常国会を終盤を迎えているが、与党は大巾な延長を企てているようである。さいたま市長選では「さいたまから政権交代」を訴えた三浦公代が当選した。山形県民民主党も青森県でスタートとなり、北朝鮮の核実験には強い怒り憤りの時代を遂行した暴挙である。